

唾液による感染症デジタル検査技術の東大ベンチャー

ナノティスへのシリーズ A 出資に関するお知らせ

ニプロ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:佐野 嘉彦、以下「ニプロ」)は、2022年7月5日付にて、唾液による次世代の感染症デジタル検査技術を開発する東京大学発ベンチャー、ナノティス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 CEO, Founder :坂下 理紗、以下「ナノティス」)へシリーズ A 出資を実施したことを、お知らせします。

1. 出資の目的

ナノティスは新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス等の幅広いウイルスを対象とした、唾液によるデジタル検査技術を有する東京大学発ベンチャーであり、同社は「核酸誘導光追跡免疫検出法(NANOTIS 法)」の技術開発に成功しました。この技術を実装すれば、唾液で高精度ながら簡便、迅速、安価な検査が可能になり、結果がワンステップでデジタル処理されすぐに集計できるため、オンライン診療や行政によるデータ集積・効率的な感染症対策を実現するためのコア技術となることが期待されます。新型コロナウイルス感染症の大規模な流行により、発症の有無にかかわらず、日常的なスクリーニング検査の重要性が世界的に認識されました。現在の PCR に代表される遺伝子検査は高精度ながら時間と専門技術・装置を要し、イムクロマト法^{*}に代表される抗原検査は簡便、安価ながら遺伝子検査と比較して感度が低く、いずれも一部を除き検体は侵襲性の高い鼻咽腔ぬぐい液で検査を実施されており、データ集積の都度手入力が必要という課題があります。NANOTIS 法は感染症検査に第三の選択肢を提供する、次世代のプラットフォーム技術です。

ニプロは診断薬の製造、販売に関する豊富な知見を有し、また近年では遠隔診療サポート機能付き見守り支援システム「ニプロハートラインTM」の提供や、東京大学病院と「新型コロナウイルス感染症重症化予測システム」の開発を手掛けています。今回ナノティスへ将来の協業を前提としたシリーズ A 出資を行うことにより、革新的な検査技術からオンライン診療、データ解析まで一連のプラットフォームを総合的に備えた、感染症診断のリーディングカンパニーとして成長することを目指します。

^{*}イムクロマト法…セルロース膜上を被検体が試薬を溶解しながらゆっくりと流れる性質(毛細管現象)を応用した免疫測定法で妊娠診断、インフルエンザ等で応用されている。

2. 株式取得の方法

ナノティスが2022年7月5日に発行したA種優先株式のすべてをニプロが取得。

3. ナノティスの会社概要 Nanotis

名称: ナノティス株式会社

代表者取締役 CEO, Founder: 坂下理紗

本社所在地: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木五丁目 50 番 13 号

共同研究ラボ: 〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部 4 号館内

設立: 2016 年 6 月 6 日

資本金(資本準備金含む): 388,150,240 円

4. 業績に与える影響

当期の業績に与える影響は軽微です。

お問い合わせ先

報道機関の皆さま: 広報担当

TEL 06-6375-6700

その他の皆さま : 検査商品開発・技術営業部

TEL 06-6373-3168

※受付時間 9 時～17 時 45 分(土・日・祝日・当社休業日を除く)